

「桃の花を見る度に」

甲府地区 今福 栄子

私が『山梨日本語ボランティアの会（YNV）』を知ったのは、英会話教室のクラスメートがYNVの会員でレッスンの中でボランティア活動について話したことからだ。

ちょうど外国の方の何か役に立ちたいと思っていたところであったので、彼女に私も入会したいと言ったところ、2月に交流会をするので活動を実際に見たらどうか…ということで、桃の花見交流会に参加することになった。

当日は大勢のいろいろな国の人が会員に連れられて来ており、野点や音楽演奏など趣向を凝らしたおもてなしに感心しきりであった。

私の向かいに会員の御婦人とアメリカ人の女性が座っていて、その御婦人が彼女を優しく見つめながら「私はこの子が週一回うちに来てくれることが何よりの楽しみなの、私は彼女の国の言葉はよくわからないけど、この子が本当にかわいくてしかたがないわ」。何を言われているのかわからずキョトンとしている女性に私の友人が「You make her be happy（あなたは彼女を幸せにしている というような意味のこと）」と言うと、女性は「Really?（本当に?）」と言い更に「アリガトウ ゴザイマス」と言った後二人は顔を見合わせて微笑み合った。

『え———!?!（°Д°）』失礼ながら私の母よりお年上に見えるその御婦人が、レスリングの吉田沙保里選手のような“レゲエ風編み編みヘア”の今様ギャルに日本語を教えているの??? わたしはたまげてしまった。

そして本当のおばあちゃんと孫のように見えた二人の間のほんわかと温かいものに胸がじーんと熱くなった。

その時の感動と、その後参加した研修会での

- *教える方とその方の国・文化を尊重する
- *焦らずじっくり話を聞き、聞き上手になる
- *相手の話を聞く7：自分のことを話す3の割合で

という講師の先生の言葉をいつも念頭に置いて受講生と向き合うようにしている。

なので私のレッスンはもっぱらおしゃべりである。

相手の方の国の文化やしきたり、生活のことなど日本との違いを比べながら話すことは本当に面白い。

私だけ楽しく、果たして相手の方の日本語上達に役に立っているのか?

私などが先生で申し訳ない…と帰りの車の中ではいつも一人反省会になってしまう。

それでも日本に住む外国人の心の寄りどころになりたい気持ちだけは充分にあるつもりであり、そして 国に帰った受講生が私を自国に招いて豪勢に接待してくれないかな…などと厚かましい希望もまた充分にあるのである。

